

2005年 10月17日

会社名 株式会社 大丸
 コード番号 8234
 代表者名 取締役会長兼最高経営責任者
 奥田 務

2005年 9月度 大丸 連結営業報告

1. セグメント別売上高対前年増減率(%)

	9 月 度
百貨店業	2.6
スーパーマーケット業	0.5
卸売業	9.5
その他事業	8.4 (3.7)
連結合計	3.3 (3.4)

(注) 1. 売上高にはその他営業収入を含めていない。また、各事業の売上高には連結会社間の売上高を含む。
 2. ()内は、㈱アジアを除いた実質の増減である。(株式譲渡により㈱アジアは連結から除外した。)

2. 百貨店業 売上高概況

1) 店舗別売上高対前年増減率(%)

	9 月 度	
	売上高	入店客数
心齋橋店	12.7	24.8
梅田店	0.6	0.6
東京店	3.3	2.6
京都店	1.7	0.5
山科店	0.9	-
神戸店	0.6	1.8
新長田店	6.9	-
須磨店	0.7	-
芦屋店	21.9	-
札幌店	7.5	8.6
直営10店舗計	3.2	5.3
博多大丸	1.5	13.8
下関大丸	0.4	4.3
高知大丸	2.5	2.0
今治大丸	6.8	-
百貨店業合計	2.6	-

(注) ・直営店の入店客数合計の対前年増減率は、心齋橋、梅田、東京、京都、神戸、札幌の6店舗計である。

2) 直営店 商品別売上高対前年増減率(%)

	9 月 度
紳士服・洋品	6.1
婦人服・洋品	4.9
子供服・洋品	7.2
その他の衣料品	0.3
衣料品計	4.4
身の回り品	0.4
家具	5.1
家電	8.5
その他の家庭用品	0.0
家庭用品計	1.9
生鮮	4.3
菓子	4.0
惣菜	5.9
その他食料品	2.8
食料品計	4.4
食堂・喫茶	5.9
化粧品	8.0
美術・宝飾・貴金属	2.7
その他雑貨	3.4
雑貨計	1.4
サービス	12.1
その他	23.1
合計	3.2

3. 概況

1) 百貨店業

- ・9月の百貨店業の売上高は、婦人、紳士ともに秋物衣料品を中心に活発に動き、直営店では対前年3.2%増、全体では同2.6%増となった。
- ・直営店の店別売上高は、心齋橋店が食品フロア改装オープンとそごう開店による心齋橋地区への来街者増加の相乗効果により2桁増となったことをはじめ、直営6店が前年を上回った。心齋橋店は8ヶ月振り、札幌店は17ヶ月連続、京都店は10ヶ月連続。
- ・婦人服・洋品はベルベット素材やコーデュロイ素材のジャケットなど秋物が活発に動いた。紳士服・洋品はキャラクターやプレタポルテを中心にスーツ、ジャケットなどが好調に推移した。身の回り品はブーツに動きがあったほかハンドバッグも堅調であった。食料品は心齋橋店食品フロア改装効果が牽引した。雑貨は化粧品のほか紳士用を中心に高級時計は好調であったが、絵画などが不振であった。
- ・博多大丸は食品が2桁増で全体を押し上げたほか、下関大丸は催事による嵩上げもあり前年を上回った。

2) その他

- ・スーパーマーケット業の大丸ピーコックの売上高は、対前年0.5%減となった。地区別では、関東地区は新規オープンした「トルナーレ日本橋浜町店」の嵩上げ効果もあり対前年0.8%増、関西地区は甲子園地区の競合激化により同2.0%減であった。
- ・卸売業の大丸興業の売上高は、電子部品やホームセンター向け商材、繊維製品などが好調に推移し対前年9.5%増となった。

お問い合わせ先	株式会社 大丸グループ本社	広報・IR部
	TEL	06-6281-9002
	FAX	06-6245-1343